

## 学生コーディネーター企画

# つながりTOKYO2020

2018/11/30～12/21

東京2020大会を通して、ボランティアやダイバーシティについて考える『つながりTOKYO2020』をダイバーシティ推進室と共催で全4回実施しました。

### ダイバーシティ推進室×ボランティアセンター

第1回の「ダイバーシティ推進室×ボランティアセンター」では、普段どのような活動を行なっているかを互いに紹介しました。ボランティアセンターの紹介は学生コーディネーター3人で行い、ボランティアセンターの3つの柱や、今年度行った「ボランティア団体フェア サマボラ！2019」、「1dayボランティア」を例として学生コーディネーターの活動を紹介します。紹介文を考えることで改めてボランティアセンターでの活動を見直すことができ、多くの人にボランティアセンターを知ってもらえてとても有意義な経験でした。

### TOKYO2020×ボランティア

第2回の「TOKYO2020×ボランティア」では、東京2020大会のボランティアにまつわる言説を出発点にボランティアとは何かということを多角的な視点からディスカッションしました。ダイバーシティ推進室との共催によって、普段ボランティアをしていない人も意見交換をすることができ、ボランティアについてより深く考えることができた充実した場となりました。

### TOKYO2020×ダイバーシティ

第3回の「TOKYO2020×ダイバーシティ」では、ダイバーシティ推進室の特任研究員である藤山新さんに、オリンピック・パラリンピックを通して見えるダイバーシティについて、レクチャー形式でお話していただきました。義足の選手などの障がいがある選手に対する偏見、ヘイトスピーチ、女性のオリンピック・パラリンピックへの参加などについて、知り、考える機会となりました。

### TOKYO2020×SOGI

第4回の「TOKYO2020×SOGI」では、藤山さんの専門であるダイバーシティの中でもセクシャルマイノリティ、特にSOGIをとりあげ、レクチャー形式でお話していただきました。オリンピック・パラリンピックを通して、スポーツにおけるSOGIに関する問題を知り、当たり前のように感じていることやイメージの裏にある課題に気づ

かされました。また、スポーツにおける「公平」とは何か、考え探ることの重要性と共に改めて難しさも感じました。

東京2020大会が何かに気づかせ、その後の東京を輝かせるような大会になるようにまだまだ考えを深めていきたいです。

(学生コーディネーター 伊藤、宇賀神、神保)

